

授業科目(ナンバリング)	文化財保護論 (CB214)			担当教員	中島 金太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>テーマ：文化財の保護と活用</p> <p>文化財保護の基本として、「守る」「残す」「学ぶ」「活かす」の4つの視点が存在し、「守る」ことと「残す」ことを主眼に文化財保護が行われてきた。一方、現状の文化財行政では、国の方針により文化財を「守る」「残す」ことから「活かす」ことへシフトし始めている。かかる点において、現在は文化財保護の大きな転換点であると言える。この現状を踏まえ、改めて文化財保護の概念・歴史を学び、文化財の保護と活用について理解を促すことを目的とする。</p>							②⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	文化財の保護と保全に関する基礎知識と専門的知識を同時に得ることができる。また、文化財保護の理念のもと、文化財の活用についても知識を得ることができる。				確認テスト 課題レポート	10% 30%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	文化財を多角的にとらえ、文化財の持つ力について理解し説明できる。				定期試験	60%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は、定期試験 60%、確認テスト 10%、課題レポート 30%の配分で行う。</p> <p>定期試験は筆記試験により行い、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。</p> <p>確認テストは、第 5 回、第 10 回、第 15 回に実施する。確認テストは、それまでの授業内容を明確に理解しているか、正確に記述しているかを問う。</p> <p>また、第 1 回授業の際に課題レポートを課し、第 14 回授業までに提出する。内容は、第 1 回授業の際に説明する。なお、ポートフォリオでフィードバックを行い評価する。</p>							
授業の概要							
<p>講義形態を主とし、パワーポイントを使用する。</p> <p>また、毎回簡単な小テストをポートフォリオで行い、学生証のタッチと小テストの回答の両者で出席確認を行う。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は 180 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書： 特に指定なし</p> <p>参考書： 文化財保存全国協議会編 2017『文化財保存 70 年の歴史』新泉社、ほか第 1 回講義内で紹介する</p> <p>指定図書： 古庄浩明 2018『文化財学の基礎』三恵社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>文化財に関して興味を懐き、地域の文化財の保護・活用を担える人材になってほしい。そのためには、身近な文化財や博物館等を積極的に観覧し、見分を広めてもらいたい。</p> <p>また、授業中の私語や指示の無いスマホの使用、理由のない遅刻・途中退出は認めない。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス 文化財保護の概念	文化財保護の概念について解説し、併せて本講義の進め方について説明する。 ※課題レポートの題目を発表。	復：身近な文化財を見学・観覧する。
2	文化財保護の歴史 1	近代以前から戦前にかけての文化財保護史を解説する	予：『文化財保存 70 年の歴史』を読んでおくこと。
3	文化財保護の歴史 2	戦後から現代にいたる文化財保護史を解説する。	予：『文化財保存 70 年の歴史』を読んでおくこと。
4	文化財の手法	各文化財に対応した保護の手法について解説する。	予：文化財保護の手法について事前に調べておくこと。
5	有形文化財の保護 1	各種有形文化財及び登録有形文化財の保護について解説する。 ※確認テスト実施	予：有形文化財の概念について調べる。 復：確認テストを踏まえて文化財に関する基本を再確認する。
6	有形文化財の保護 2	有形文化財保護の実務について解説する。	予：拓本、写真、実測図について調べる。
7	民俗文化財の保護	民俗文化財の保護について解説する。	予：民俗文化財の概念について調べる。
8	埋蔵文化財の保護	埋蔵文化財の保護と発掘調査について解説する。	予：埋蔵文化財の概念について調べる。
9	史跡名勝天然記念物の保護	史跡名勝天然記念物の保護について解説する。	予：史跡名勝天然記念物の概念について調べる。
10	重要文化的景観の保護	重要文化的景観の保護について解説する。 ※確認テスト実施	予：重要文化的景観の概念について調べる。 復：確認テストを踏まえて文化財に関する基本を再確認する。
11	伝統的建造物群保存地区の保護	伝統的建造物群保存地域および重要伝統的建造物群保存地域の保護について解説する。	予：伝統的建造物群保存地域の概念について調べる。
12	無形文化財、文化財の保存技術、無形文化遺産の保護	文化財保護法の無形文化財の保護と文化財の保存技術、ユネスコの無形文化遺産の保護について解説する。	予：無形文化財の概念について調べる。
13	世界遺産	世界遺産の保護の在り方と実例について解説する。	予：世界遺産の概念について調べる。
14	その他の文化財、文化遺産の保護	日本遺産、世界の記憶、世界農業遺産など、文化財保護法の枠外の文化財保護について解説する。 ※課題レポート提出期限	予：日本遺産、世界の記憶、世界農業遺産の概念について調べる。
15	総括	これまでの文化財保護論の総括として、論全体を概観することで、現在の文化財保護と活用に関する課題を探る。 ※確認テスト実施	復：確認テストを踏まえて文化財に関する基本を再確認する。
16	定期試験	筆記試験を実施する。確認テストより出題する。	予：試験準備を行う。